

琵琶湖の保全及び再生に関する施策の実施状況

- ホンモロコ等の産卵・繁殖の場となるヨシ帯造成

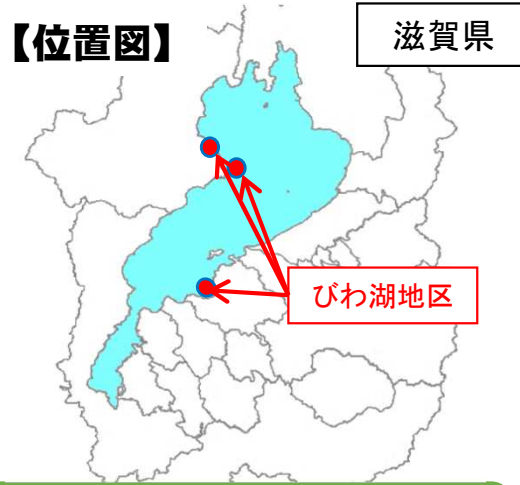
農 林 水 産 省

ホンモロコ等の産卵・繁殖の場となるヨシ帯造成

概要

- 琵琶湖岸は、水ヨシ帯が広がる良好なホンモロコ等コイ科魚類の産卵・繁殖の場であったが、開発等の影響によりヨシ面積が減少。これに伴いこれらの漁獲量も減少。
- このため、安定的に漁獲のあった時期の規模まで水ヨシ帯を回復すべく、着定基質の整備等により水ヨシ帯を造成し、ホンモロコ等の漁獲量の回復を目指している。
- 造成ヨシ帯では、ホンモロコ等の産卵・繁殖に好適な環境が回復傾向にあり、漁獲量も増加傾向にある。

【位置図】



滋賀県

びわ湖地区

対策

水ヨシ帯造成に向け、ヨシの生育に最適な水深となる琵琶湖水位-30~-50cmとなるよう盛土等によりヨシ生育基盤を造成するとともに、ヨシの植栽を実施。



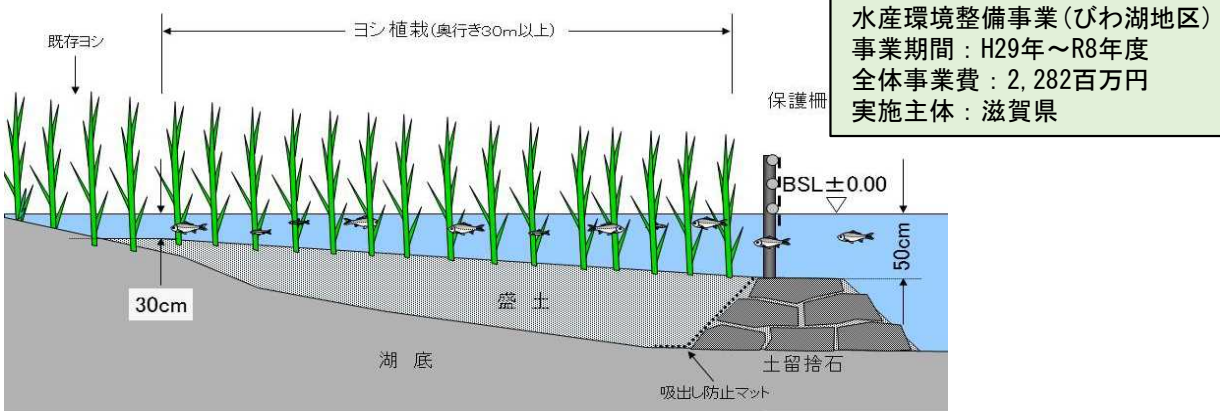
衰退するヨシ帯



造成、ヨシ植栽を実施



造成後、成長するヨシ帯



水産環境整備事業(びわ湖地区)
事業期間: H29年~R8年度
全体事業費: 2,282百万円
実施主体: 滋賀県

効果

造成ヨシ帯における産卵・繁殖と、親魚保護、外来魚駆除および過剰繁茂した水草除去などの相乗効果により、ホンモロコ資源は回復傾向

➡ ホンモロコ漁獲量は増加傾向

